

ポルトガルギター&マンドリン

Marionette

マリオネットコンサート

～アコースティックSacay2020～



堺市立東文化会館 2020 **8/30** 日
5階 メインホール 15時00分開演(14時30分開場)

前売 1,500円 当日 2,000円 【全席指定】

チケット発売 6月6日(土)

[チケットお求め]

- 堺市立東文化会館 TEL 072-230-0134
- 堺市立柁文化会館 TEL 072-296-0015
- アルテベル (堺市立美原文化会館) TEL 072-363-6868
- フェニーチェ堺チケット窓口 TEL 072-228-0440
- ローソンチケット (Lコード: 52260)

堺市文化振興財団チケットセンター
 TEL 0570-08-0089 (10:00-18:00 年中無休)
 ※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。
 [インターネット販売] (24時間受付・要事前登録)
<http://www.ticket.ne.jp/sakainet/>
 ・公演日の前日まで前売料金にてお求めいただけます。
 ・前売券が完売した場合は、当日券はございません。
 ・就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。
 ・ローソン、堺市文化振興財団チケットセンターでのご購入の場合
 発券手数料が必要です。



[主催・お問合せ] 堺市立東文化会館 〒599-8123 堺市東区北野田 1084-136 TEL 072-230-0134
<http://www.sakai-bunshin.com/>

後援  ポルトガル大使館 大阪日本ポルトガル協会

ポルトガルギター・マンドリン界の第一人者 & マンドリン界の
ノスタルジア。 遙かな時を、響きが紡ぐ。

Marionette

🎸 マリオネット

日本におけるポルトガルギターのパイオニア・湯浅隆と、マンドリン界をリードする吉田剛士によるアコースティックユニット。ポルトガルギターやマンドリュートなど演奏者の少ない楽器を取り上げ、ギターやマンドリンを組合わせて独特のオリジナル音楽の創作を中心に、ファドやポピュラー音楽まで幅広い音楽活動を行なっている。その唯一無二の個性的サウンドは、初めて聴くのに懐かしい(架空の国の民族音楽)とも称されている。映画、TVドラマ・ドキュメンタリー、TV番組テーマ曲、CM、バレエ・演劇などの音楽を数多く担当。また、俳優・常田富士男、高倉健、女優・日色ともゑ、竹下景子を始め、パントマイム・清水きよし、歌手・リリィ、石川さゆり、渡辺真知子、グラシエラ・スサーナ、長谷川きよし、中国古箏・伍芳との共演など、様々な分野とジョイントして精力的に活躍。95年のデビューCD『ぼるとがる幻想』はインストゥルメンタルとしては異例の3万枚のヒット。以降、計15枚のアルバムを発表。2013年には日本のファド史をテーマとした2枚組CD『Zipangu Fado』をプロデュース。また『徹子の部屋』『スタジオパークからこんにちは』を始め、多数のテレビ・ラジオに出演すると共に、BGMとしても数多く使われている。全国各地でのライブ活動の他、豪華客船「飛鳥II」ワールドクルーズでの演奏実績も重ねている。1998年に開催されたリスボン国際博覧会EXPO'98の日本館主催ジャパNDERのイベントに日本代表で出演。また、同博覧会の「Festival de Guitarra Portuguesa na Expo'98」に日本人では唯一招待されるなど、国際舞台も含めて益々の活躍が期待されている。2013年『第6回石見銀山文化賞・特別賞』受賞。同年、日ポ友好470年の記念にポルトガルにて470周年記念コンサート「The Way of Namban／南蛮ぎたるらの世界」を開催、また堺市よりの依頼で『南蛮Sacay』を作曲。2014～2017年大分むぎ焼酎「二階堂」のTVCMが全国放送。2015年ポルトガル大使館より日ポ両国の文化面での関係発展への貢献が認められ『ジョアナ・アブランシエス・ピント賞』を受賞。2016年高知県梶原町より『ゆすはら未来大使』に任命。2017年大分日本ポルトガル協会設立40周年記念曲(杉村忠彦会長より依頼)『南蛮BVNGO』を作曲、同曲は大分市公式動画サイト『いいやん！大分』で公開中。2018年4月～2019年4月、アサヒ飲料炭酸水「ウィルキンソン」のWebCMに長谷川きよし、ロン・カーターとの共演曲『いつものBarで逢いましょう』が使われた。2020年大分市医師会立アルメイダ病院50周年記念曲『アルメイダの聖鐘』『南蛮天使アルメイダ』熊本県天草市文化課世界遺産・文化財係よりの依頼で「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録一周年記念曲『南蛮AMACUSA』を作曲。

🎸 湯浅 隆 Takashi Yuasa(ポルトガルギター奏者)



14才でギターを始め、日本ギター音楽学校を経てクラシックギターを小野剛蔵氏に師事。ポルトガルギターを巨匠アントニオ・シャイニーニョ氏、アマリア・ロドリゲスのバックギタリスト、カルロス・ゴンサルベス氏に師事。我が国におけるポルトガルギターのパイオニアとして、ファド(ポルトガルで生まれた民衆・大衆歌謡)だけにとどまらず、日本人ならではの独自の境地「南蛮ぎたるら」を展開中。マリオネットとして、オリジナル曲を中心に音楽活動を行なう傍ら、近年は作詞・作曲家として楽曲提供(グラシエラ・スサーナ『唐街雨情』他)も積極的に行っている。2010年よりマカオ観光局音楽大使。2013年「第6回石見銀山文化賞特別賞」受賞、同年日ポ交流470周年を記念して堺市の依頼により『南蛮Sacay』を作曲、ポルトガルにて470周年記念コンサート「The Way of Namban／南蛮ぎたるらの世界」を開催、2015年ポルトガル大使館より『ジョアナ・アブランシエス・ピント賞』を受賞、2017年大分日本ポルトガル協会設立40周年記念曲『南蛮BVNGO』を作曲するなど「南蛮文化」「ポルトガル」という文脈の中でも確かな評価を得ている。

🎸 吉田 剛士 Goshi Yoshida(マンドリン奏者)

15才でマンドリンを始める。川口雅行氏に師事。ドイツ国立ヴッパータール音楽大学にてマーガ・ヴィルデン・ヒュスゲン女史に師事、同校演奏家資格試験を最高点で卒業。NHK洋楽オーディション合格。マリオネットとしての活動の中で新たなマンドリン音楽の確立に力を注ぐ一方、古典作品やマンドリン全般への造詣の深さを生かし、日本で唯一のマンドリン専門誌「奏でる！マンドリン」の監修、各マンドリンコンクールの審査員を務めるなどマンドリンの普及発展にも貢献している。マリオネット作品を専門に演奏する「マリオネット・マンドリンオーケストラ」ならびに、全国のマンドリン合奏愛好家を100名以上集めて組織する「ZIPANGUマンドリンオーケストラ」を主宰。2019年3月より、大分にて「南蛮BVNGOマンドリンオーケストラ」を結成、同年より一般社団法人日本マンドリン連盟副会長。



ポルトガルギター マリオネット

検索

公式webサイトも是非ご覧ください。

Marionette